

# 予算特別委員会を設置 延べ217件の質疑

今回の議会には、平成31年度一般会計・各特別会計の予算が提出されました。予算特別委員会での審査後、本会議において、一般会計を賛成多数で、また、各特別会計については全会一致で可決しました。



予算特別委員会での審査の様子

会計名	予算金額	前年度比	
一般会計	166億3100万0000円	9.0%増	
特別会計	国民健康保険	37億4219万2000円	4.1%減
	駅西土地区画整理事業	15億3415万2000円	3.9%増
	下水道事業	11億2813万5000円	5.8%増
	介護保険	23億8212万7000円	3.1%増
	後期高齢者医療	7億449万6000円	5.1%増
	殿ヶ谷財産区	416万5000円	2.8%減
	石畑財産区	1417万4000円	13.2%増
	箱根ヶ崎財産区	868万6000円	10.2%増
	長岡財産区	78万6000円	4.3%減

**予算特別委員会で審査**

町側からの提案を受け、直ちに予算特別委員会を設置し、委員長に近藤浩議員、副委員長に原隆夫議員を選出。議長を除く14名により、4日間にわたって審査を行いました。

本会議では、一般会計予算について、賛成・反対の討論が行われ、起立採決の結果、賛成13名、反対1名で可決しました。9件の特別会計については、すべて全会一致で可決しました。

## 討論(要旨)

賛成

31年度、町税は個人所得の微増と企業業績の継続的な回復を見込んで前年度比4.4%増を見込むが、引き続き普通交付税の不交付団体となると予想されることから、慎重な財政運営が求められる。その中、新庁舎建設工事、公園遊具等設置工事、ひとり親家庭を支援するための学校給食費の補助、ICT教育推進のためのタブレットなどの整備、防災の啓発などを行う女性消防団員の創設など、限られた財源の中、新規事業にも果敢に予算を投入し、各分野にバランスよく配分しているものと高く評価する。

原 隆夫 議員

反対

2年目となった改定介護保険制度は、昨年10月からは、訪問介護生活援助に回数基準が設けられた。介護保険料・利用料の町独自の軽減策や他市町でも実施している在宅寝たきりの人たちに手厚い支援策を検討するべき。

少子化対策を重視し、子ども医療費完全無料化の実施や町の西側地区に児童館建設を検討するべき。また、ひとり親家庭支援に対するホームヘルプサービスや学校給食費の補助金などの取り組みは評価できる。

大坪 国広 議員

栗原地区の区画整理は、農業振興地域除外やJR新駅設置が大きな課題。13年目を迎えても組合立ち上げの目途がつかない状況の中で、見直し再検討をすべきである。

## pick up 1

### いじめに関する重大事態が発生した場合の調査を行うための条例を制定

#### 議案第2号 瑞穂町いじめ問題調査委員会条例を可決

現行の「瑞穂町いじめ問題調査委員会要綱」を廃し、「瑞穂町いじめ問題調査委員会条例」を新たに制定するものです。

- Q 重大事態とは何をどう想定しているのか。
- A 児童などの生命、心身または、財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。また、相当の期間、学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。
- Q 要綱から条例にした理由は。
- A 要綱では教育長による再調査であったものを、条例化により、町長が附属機関を設置して再調査を行うようにするため。



町教育委員会の啓発ポスター

## pick up 2

### 赤字補てん解消に向けて保険税を引き上げ

#### 議案第6号 瑞穂町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を可決

国民健康保険税(以下、「保険税」という。)は、被保険者の収めた保険税内で事業を行う制度ですが、一般会計から赤字分を繰り入れて運営しています。今回の改正は、赤字補てんを抑制するため、保険税の一部を引き上げるものです。



駅自由通路に設置されている横断幕

- Q 町の保険税は一般会計から補てんすることで、都内30市町村の中でも低く抑えられてきた。赤字解消に向けた今後の計画は。
- A 赤字解消を5年で進めるところもあるが、町は15年を目安に解消したいと考えている。
- Q 後期高齢者支援金等課税額の均等割り額について、一人当たり年1500円の増となるが、増収額は。
- A 約260万円。加入者の生活に配慮しながら計画的に引き上げたい。